

Vol.
91号



令和3年11月

やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



< 教育・保育理念 >
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに



あっ！何かおる！

アリジゴク！発見！



この木…
ザラザラ
してる。



(図鑑と比べて)
あれはすじ雲やな！

自然の中にいる。
それだけで五感は刺激
されています♪

子どもたちは興味のあるものはこちらが何も言わなくても、「これはどうなっているの?」「もしかしてこうかな?」「こうしてみたらどうかかな?」と自分なりに試行錯誤を始めます。この『試行錯誤の時間』はとても大事で、自分なりの考えをまとめたり、試したりする事で、物の性質や構造などを少しずつ理解していきます。また、思いを友達と伝え合ったり話をすることが、コミュニケーション能力や言葉の使い方の向上にもつながります。



ルーペで見てみよう。
よく見える～！

ギンナン…
くをっ！！



土がいる！



お水もいるな。
誰かが水やり
してんかな?



▲みんなで草花の成長に必要なものを考えています。

遊びが学び

「色々な感覚を使って遊ぶ」

自分の目で見て、鼻で匂って、手で触れてみて、時には味を確かめて…。五感を働かせて遊ぶことで様々な発見や感動が生まれ、観察力の鋭さが養われていきます。自然の中で、子どもの感覚はどんどん研ぎ澄まされていることに保育者も気づかされます。

生き物は優しく
触ろう。